

研究セキュリティ・インテグリティに関する リスクマネジメント体制整備支援事業 申請様式

- ※ 全体を10頁を超えない範囲（基本情報の頁は除く）で簡潔に記載してください。頁数の上限の範囲内で図表等を含めることは差し支えありません。
- ※ 文字サイズは11ptで記載ください。
- ※ イタリック体の指示書きは、提出時に削除ください。
- ※ 連携型申請の場合に等は、申請機関と連携機関の役割分担に留意して記載してください。

基本情報1：申請区分等

単独申請/ 連携型申請	
申請機関	〇〇大学、〇〇機構、〇〇研究所 等
連携機関 (連携型申請の場合)	〇〇大学、〇〇機構、〇〇研究所 等

基本情報2：申請機関情報

申請代表者	氏名	
	役職	
事務連絡担当者	氏名	
	所属部署・役職	
	住所	
	電話番号	
	e-mail	

基本情報3：連携機関情報

※連携型申請での提案の場合のみ、全ての連携機関の情報の記載が必要です。

(例えば、連携機関が4つの場合は下記の表が4つ必要です。)

連携機関代表者	氏名	
	所属機関	
	役職	
事務連絡担当者	氏名	
	所属部署・役職	
	住所	
	電話番号	
	e-mail	

1. 全体概要

(概要) と (取組のポイント) はあわせて1枚以内で記載してください。

(概要)

※後述の2. ～5. の内容を踏まえ、事業の全体概要について記載してください。

(取組のポイント)

※本事業を活用して実施する取組のポイントを、後述の2. ～5. の内容を踏まえ記載してください。

(事業実施体制図)

※本事業を活用して目指す、研究セキュリティ・インテグリティ強化に向けたリスクマネジメントに係る全体マネジメント体制や意思決定プロセス、本部及び関係部署等の役割分担や有機的な連携協力関係等を図で表してください。連携申請の場合には、申請機関と連携機関の役割分担を記載してください。

2. リスクマネジメントのこれまでの取組状況

(本文のポイント) 3～5項目で簡潔に記載してください。

- ・
- ・
- ・

(本文) 以下の点について、各申請機関において自由に記載してください。

・貴機関（連携型の場合は、連携機関含めた全体として）において、研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクに関し、これまでどのようなリスクマネジメント（リスクの確認（研究者及び共同研究者（社）に関する経歴や研究歴、兼業先、渡航歴、研究資金源等、研究に関する各種情報の収集等）、当該リスクに対する評価・分析、それに基づくリスク判断、リスクへの対応（リスク軽減策の措置等）から構成される一連のプロセス）を行ってきたか（行ってきた場合、どのような課題が発生し、それに対してどのように対応してきたのか）。

・例えば、実効的なリスクマネジメントの実施に向けた組織上の工夫、所属研究者等に向けた効果的な普及啓発をどのように行ってきたか、その他負担を極力抑えつつ実効性ある取組とするための工夫等について。

3. 経済安全保障上重要と考える重要技術等

(重要技術の概要) 3～5項目で簡潔に記載してください。

(例)・AI (生成AI技術、自然言語処理)

- ・量子関連技術 (量子コンピューティング、量子センシング)
- ・バイオテクノロジー (合成生物学、感染症・ワクチン治療)

(重要技術と位置付ける理由) 各機関において、経済安全保障上重要な技術として位置付ける理由を簡潔に記載してください。(連携型の提案の場合は、連携機関を含めた技術を記載してください。)

また、当該重要技術に該当する研究のうち、国から資金提供を受けている研究がある場合、R6.4.1時点で該当する主な事業概要(所管府省等名、事業名等、金額(百万円単位)、期間)を直近3か年(年度)分を記載してください。

(例)

・本学にはバイオ技術の研究室が集積しており、〇〇事業等による国際共同研究が直近3か年で〇〇百万円の実績があるところ、相手国(共同研究先)より研究セキュリティ対策強化を求められている。

・本学は果実の品種改良に取り組んでいるところ、20の技術領域には該当していないが、〇〇の観点から経済安全保障上重要な技術であり、技術流出防止対策が必要であると考えている。

4. 研究セキュリティ・インテグリティ強化に向けたリスクマネジメントに係る取組内容

(本文のポイント) 3～5項目で簡潔に記載してください。

- ・
- ・
- ・

(本文) 以下の点について、各申請機関において自由に記載してください。

・これまでの取組(1. 記載)及び重要技術(2. 記載)を踏まえ、貴機関(連携型の場合は、連携機関含めた全体として)が行う研究セキュリティ・インテグリティの強化に向けたリスクマネジメントに係る取組のうち、特にどの部分に課題、もしくは更なる強化の必要性を感じ、また、今回の予算で何を措置することを考えているかの具体的内容。また、その取組によって得られると想定する効果(リスクマネジメントの取組の強化)について。

(今回の予算で措置する具体的内容の例)

- ・国際的な共同研究等の実施に当たり求められる研究者に関する公開情報(経歴、兼業先、研究資金等)の収集・分析に必要な体制整備(学術論文DBや外部専門調査機関の活用等)
- ・セキュリティ対策に精通した高度専門人材とのアドバイザー契約
- ・サプライチェーン解析による制裁企業との繋がりや持ち株関係の精査
- ・リスク軽減措置に必要な体制整備

・本予算を活用して行うリスクマネジメントの取組は、貴機関が考えるリスクマネジメントの取組全体のうち、どの部分を占めるのかについて。

5. 事業終了後の取組・将来構想等

(本文のポイント) 3～5項目で簡潔に記載してください。

- ・
- ・
- ・

(本文) 以下の点について、各申請機関において自由に記載してください。

本事業終了後、関連する体制や規程等の整備を進め、事業の成果を元にその他の機関や機関内の他部署等へノウハウを共有するなど、本事業の発展性・波及性を図るためにどのように取り組むのか記載ください。

6. 資金計画

経費（総表）

対象 経費	内訳	金額（円）	備考 ※主な内容を記載してください
人件費	人件費	x, 000, 000	〇〇URA △△補佐員
業務費	諸謝金	x, 000, 000	〇〇委員会
	旅費（国内）	x, 000, 000	情報収集等
	旅費（外国）	x, 000, 000	情報収集等
	会議費	x, 000, 000	〇〇会議の開催に係る会場費
	消耗品費	x x, 000, 000	機器リース料等
	通信・運搬費	x, 000, 000	通信費・電話料等
	外注費	x, 000, 000	〇〇会社外注
	委託費	x, 000, 000	〇〇会社外注
共同実施 費	共同実施費	x, 000, 000	連携機関 〇〇大学 連携機関 ▲▲大学
その他	その他諸経費	x, 000, 000	広告宣伝費、求人費 クラウド利用料等
間接経費	一般管理費	x x, 000, 000	論文掲載公開料（APC）
	合計		